一般財団法人 さっぽろ産業振興財団

平成30年度事業報告

(E	1次)																									
Ι	総括	5		•		•		•		•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	2]	頁
П	各事	事業	の根	要																						
	1	産	業振	興	セン	タ、	一事	業	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	3]	頁
	2	中	小企	業	支援	きセ	ンタ	7 —	事業	45	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	8]	頁
	3	工	レク	、ト	ロニ	- ク.	スセ	ニン	ター	-事	業		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	10	頁
	4	イ	ンタ	7 — ;	クロ	ス	・ ク	リリ	エイ	テ	イ	ブ	•	セ、	ンら	7 —	-事	業		•	•	•	•	•	13	頁
Ш	事為	美実)	績-	覧		•	• •	•		•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15	頁
IV	平	成;	30 4	年度	資	金」	収习	支 決	・算	(-	事	業	別	対	比) •	•	•		•	•	•	•	•	19	頁
3 7	H ↓		Л Д	· VIII	ランド 日	日子	- Z	舌	⊞ ≁	2 丰	f t≅	ī (⇒ 1.	竺	· -1 •	米石	774	ブド	. 7	· Œ	\	1.4	로 1	DE 4	:m 1) :	<i>D</i>
V										に 事	上	1 (計	异	音	狽	、汉	U\	~	· <i>O</i> ,	ノか	J /ı	男 「	HJ A	書	
P	勺容	とた	よる	事	項を	分份	₹ <	。)	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	20	負

I 総括

当財団は、「産業振興センター」、「中小企業支援センター」、「エレクトロニクスセンター」及び「インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)」の4カ所の拠点において、中小企業支援法に基づく指定法人及び中小企業等経営強化法に基づく中核的支援機関として広く中小企業の支援を行い、活力ある地域経済の発展に寄与している。

平成30年度においては特に以下の事業について重点的に取組を行った。

「産業振興センター」では、当財団が持つ豊富な実績、ノウハウ及び関係機関等とのネットワークを活用し、スタートアップ・プロジェクトルーム入居者に対する支援や市内ベンチャー企業への支援の推進等により創業支援を行うとともに施設の貸出及び各種セミナーを実施した。

また、北海道内の1次産業者と札幌市内を中心とする2次・3次産業者の連携による6次産業化を推進し、道内の農水畜産物資源の高付加価値化を進めるとともに、道産品の輸出促進を図るため、各企業の海外展開のサポートを積極的に行ったほか、札幌・北海道の情報(観光、産業、生活等)が継続的に露出され、その効果が観光や貿易等の他産業に資するよう、映像関連事業者等との連携強化を図り、フィルムコミッション事業、映像コンテンツの国際共同制作、相互流通を促進するため国際映像商談会への出展、映像制作への助成事業等を積極的に実施した。

「中小企業支援センター」では、経験豊富な相談員による経営・融資相談に加え、札幌市が策定した創業支援事業計画に沿って設置された「さっぽろ創業支援プラザ」で創業相談を行うとともに、計画に参画する他の支援機関と連携を図りながら創業支援を積極的に展開した。

「エレクトロニクスセンター」では、良好な研究開発環境の提供、情報技術分野の技術革新等の調査、研究及び啓発等の事業を展開した。また、IT技術を活用した新たな製品やサービスを世に出すことのできる企画・展開力のあるIT企業の育成・支援に関する事業や、官民が保有するオープンデータ・ビッグデータの活用促進、更には、平成29年度に立ち上げた「Sapporo AI Lab」を中心に、AI、IoTなどの先進的IT技術の社会実装の促進に関する事業を実施した。

「インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)」では、コンテンツ産業及びコンテンツを活用する他産業の振興拠点として、セミナー・ワークショップ等を通じたコンテンツ産業への支援を進めるとともに、コンテンツ産業と他産業との連携事例の創出に向けた支援も積極的に展開した。

Ⅱ 各事業の概要

1 産業振興センター事業

○支出決算額 374,803千円

(1) 産業振興センター施設管理運営事業

人材の育成、創業支援等を通じて地域経済の活性化を図るための拠点施設である札幌市産業振興センターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。

◆事業実績

- ・セミナールーム稼働率:76%
- · S P R 入居率: 65%
- ・利用者アンケート総合満足度:上期 83%、下期 90%

(2) 中小企業経営セミナー等事業

創業のあらゆる段階に対応したセミナー及び人材のスキルアップを通じて 企業の経営力強化を図るセミナーを開催した。

◆事業実績

- ・創業者向けセミナー受講者:297名
- ·起業道場受講者:42名
- ・人材育成セミナー等受講者:1,090名

(3) 女性起業家交流会実施事業

◆事業実績

・平成30年度は、札幌市において指名見積合せを執行した結果、他団体が受託したため、未実施

(4) 札幌ベンチャーグランプリ事業

札幌市における創業マインドの向上を図ることを目的として、今後の成長が期待でき、地域活性化の新たな担い手となりうる起業志望者や起業後間もないベンチャー企業等を募集し、35件の応募の中から選考委員会による審査の結果、「SAPPORO ベンチャーグランプリ 2018 表彰式」において6件の表彰を行った。

◆事業実績

・地域経済をけん引するベンチャーの表彰件数:6件

(5) ベンチャー育成事業

昨年度のベンチャーグランプリ受賞者に対し、ビジネスアイディアの実現 に向けたハンズオン支援を行った。

◆事業実績

· 支援対象: 6件

(6) 起業志望者向け講座事業

潜在的な起業志望者の掘り起しを行うため、図書情報館と連携した講座、 先輩起業家の訪問、コワーキングスペースの見学等を行った。

◆事業実績

・12 講座等 259 名 (29 年度は、203 名)

(7) 中小企業ネットワーク構築・推進事業

札幌市産業振興ビジョンにおける重点分野の一つである「食」関連産業の振興のため、ものづくりチームと販路拡大チームが連携し、市内中小企業や関係機関等への訪問により、各種支援メニューやイベントの紹介、個別企業のマッチング、コーディネートを行い、ネットワークの構築を図った。

このほか、市内に点在するビジネス情報をまとめて発信する総合ポータルサイト「さっぽろ産業ポータル」及び 10 都市連携マッチングサイト「つながるネット」の運営を引き続き実施した。なお、産業ポータルのメールマガジン(週2回発行)については、登録者数 4,300 名を超え、記事掲載件数 870件以上と産業情報に関する市内有数のメールマガジンとなっている。

◆事業実績

- ·企業訪問: 976 社、1,925 回
- ポータルサイトアクセス数:602,961件

(8) 6次產業活性化推進事業

道内の一次産品を、原材料として供給する形態から、付加価値を付けた商品として開発・供給するいわゆる6次産業化を推進するため、販路拡大支援部内の「ものづくりチーム」が道内の1次産業者や市内のものづくり企業、協同組合、大学の研究機関等を訪問し、ネットワークを構築するとともに、調査により判明した課題を踏まえたマッチングやコーディネート、イベントを実施した。

また、1次産業者と2次・3次産業者が連携して新商品開発等を行う取組への補助や販路拡大につながる展示商談会への出展支援を行い、道内の食関連産業の商品の付加価値向上を図った。

◆事業実績

- ・企業訪問:730 社、1,548 回、コーディネート実績:120 件
- ・食品と機械の集い(食品加工業者とものづくり企業との出会いの場を創出するためのセミナー及びマッチングイベント):セミナー参加者 241 名、交流会参加者 170 名
- 展示商談会等出展支援

北海道産品取引商談会:出展6社、総商談268件 バイヤーズマーケット北海道2018:出展1社、総商談5件 コラボ商材ショーケース:出展4社、総商談33件

スーパーマーケットトレードショー2019:出展6社、総商談270件

FOODEXJAPAN2019:出展1社、総商談77件

・6次産業活性化のための補助:5件採択

(9) 食品海外販路拡大支援事業

道内企業の国際競争力を高め、道内経済の活性化を図るためには、経済成長著しいアジアをはじめとする海外への展開に関するサポートや道内企業が主導する商流・物流体制の構築が重要となる。そのため、販路拡大支援部内の「販路拡大チーム」が貿易実務等の指導、現地バイヤー及び輸入商社等の情報収集、提供、輸出可能商材発掘等を行い、民間企業の海外進出へのきめ細かなサポートを実施して、輸出拡大を推し進めた。

また、当財団主催による海外企業との商談会を複数回開催し、販路拡大に向けた直接的なマッチングを実施するとともに、商談会に参加した輸出志向企業と新たなネットワークを構築した。

平成30年度から台湾に食品専門アドバイザーを配置し、市場調査や現地での商談アレンジ、アテンド、商談支援等の実務に直結した支援のほか、札幌食と観光国際実行委員会及び札幌商工会議所と連携した台湾食品ビジネス開拓・視察会(現地視察ツアー)を実施した。

◆事業実績

•貿易関連相談件数:545件/年

・商談サポートによる輸出額:211,024千円

財団主催の取引商談会

商談会名	対象国・地域	会期
Hi-Life 北海道産品取引商	台湾・台北	6月5日
談会にバイヤー招へい		
T.K.Interfood Co.,Ltd. 個	タイ・バンコク・チェンマイ、	10月17日
別商談会	カンボジア	
東方国際集団 個別商談会	中国・上海	12月17日
新華日本食品 個別商談会	香港	12月26日
大統集団 個別商談会	台湾・高雄	1月17日

(10)輸出仕様食品製造支援事業

市内食関連企業の海外への販売力強化を図り、海外における北海道ブランドの定着を促進するため、パッケージ・風味・価格帯が海外の消費者に受け入れられやすい食品、賞味期間・保存方法・輸送方法が流通業者に受け入れられやすい食品、構成成分やその表示が海外の監督機関の基準に適合する食品等を開発する取組への補助による支援を行った。

◆事業実績

・輸出仕様食品開発のための補助:10件採択

(11) 北大ビジネスインキュベーション支援事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構が平成20年12月に設置した大学連携型起業家育成施設である北大ビジネス・スプリング(入居企業30社、入居率95.5%)に職員1名を派遣し、当該施設の入居企業に対する経営アドバイスや公的支援制度や商談会・マッチングイベント等についての情報提供を行った。

◆事業実績

経営アドバイス等の相談対応:112回、情報提供1,504件/年

(12) デザイン活用型製品開発支援事業

市内ものづくり企業の製品開発力、競争力強化を図るため、ものづくりに おける「デザイン戦略」の普及啓発セミナーや小規模勉強会を開催したほか、 「デザイン戦略」を活用した製品開発のための支援を行った。

◆事業実績

- ・ものづくりセミナー、中間報告会:各1回
- 製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援:3社
- ・成果事例集の製作

(13) 創業支援事業者補助金事業

スタートアップ・プロジェクトルーム入居者の経営基盤強化等の支援を目的として、民間の創業支援機関のノウハウも活用しながら、各種経営支援や情報提供、企業マッチング等、有用かつ実効的な支援を行った。

◆事業実績

- ・入居者の事業発表会:1回(参加者67名)
- ・経営塾の開催:2回
- ・創業ワークショップの開催:1回(参加者8名)

(14) 小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業

新技術・新製品の開発意欲があるものの、経営資源が限られ開発に踏み出せない小規模企業に対する支援として、市内小規模企業が行う技術的な優位性及び実用化・事業化の可能性が高い新技術・新製品開発等の取組に対し、補助を行った。また、採択後も定期訪問により、製品開発等に関する技術的課題の解決に向けたアドバイスや開発等の推進に向けた支援を行った。

◆事業実績

- ・製品開発・販路拡大のための補助:7件採択
- ものづくり企業等への企業訪問:285 回/年

(15) 映像産業振興事業

札幌・北海道の情報(観光、産業、生活等)が継続的に露出され、その効果が観光や貿易等の他産業に資するよう、映像産業の基盤強化に向けた人材育成・地域振興や映像コンテンツの国際共同制作の推進等を積極的に実施した。

◆事業実績

- ・国際共同制作案件組成のためワークショップ(5回)、国際企画提案会議を 実施(国内1回、国外1回)
- ・学生映像コンテストの実施
- ・ドキュメンタリー講座の実施

(16) フィルムコミッション事業

映画・ドラマ等の撮影に関する相談・問合せ対応や札幌市内でのロケ誘致 につなげるためロケハンや撮影現場対応を行った。

また、札幌市及び当財団が撮影支援を行い、北海道・札幌で撮影が行われた映画のプロモーション(ラッピング市電、ロケ地マップ作成など)を行うことによりロケ地である札幌の魅力発信を積極的に行った。

◆事業実績

- ・フィルムコミッション問合せ相談件数:120件、
- ・ロケハン日数:146日
- ・ボランティアエキストラ:総登録者数 2,907 名

(17) 映像コンテンツ販路拡大事業

映像コンテンツ販路拡大事業については、東京、シンガポール、香港などの国際映像見本市へ昨年度から引き続き出展し、世界各国のバイヤーに対して、地域発コンテンツの魅力を効果的に発信することができた。

また、新たにマイアミ(アメリカ)の商談会に出展し、欧米への販路拡大の足掛かりを作った。

◆事業実績

国内外映像商談会出展

- ・海外3都市(シンガポール【コンテンツホルダー6団体】、マイアミ(アメリカ)【コンテンツホルダー3団体】、香港【コンテンツホルダー7団体】)
- ・国内1都市(東京【コンテンツホルダー7団体】)
- 商談件数: 293 件

(18)映像制作助成事業

映像制作助成事業は、映像制作に係る経費の一部を助成することにより、 札幌市における映像制作をより一層促進するとともに、札幌市の映像産業及 び映像を通じた産業の発展に向けた取組を推進し、札幌市のブランド化及び 観光客誘致につなげることを目的としている。

助成の目的と申請内容により4つの項目「国際共同映像制作助成金」「映画・ドラマ制作助成金」「海外プロモーション助成金」「国際共同ドキュメンタリー制作支援助成金」に分けて実施した。

◆事業実績

映像制作助成事業実施件数:15件

主な助成作品:

- ・映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」((株) 松竹撮影所)
- ・ドラマ「チャンネルはそのまま!」(北海道テレビ放送(株))
- チャンネル・ニュースアジア (シンガポール) による世界の公園シリーズ 札幌パート (北海道放送 (株))
- 「ニードルレス・インジェクター」の海外展開プロモーション映像制作 ((株) ASCe)

2 中小企業支援センター事業

○支出決算額 33,898千円

(1) 中小企業支援センター事業

① 窓口相談

迅速かつ的確な相談に対応するため、経済センタービルに金融・経営支援リーダー及び金融・経営支援アドバイザーを配置するとともに、応援コーディネーターによる経営アドバイスを行った。

◆事業実績

- ・経営・融資相談件数 4,539 件 (うち、窓口相談:1,105 件、電話相談: 2,392 件、インターネット相談:888 件、その他:154 件)
- ② 融資斡旋·経営支援

金融相談員が「創業・雇用創出支援資金」をはじめ、札幌市融資制度全般の相談にあたり融資斡旋を行ったほか、各種融資制度に関する助言や他機関との調整等を通じて、中小企業の経営支援を行った。

◆事業実績

- ·創業·雇用創出支援資金斡旋件数:54件
- ③ 創業資金事後フォローアップ事業

創業資金を利用した企業に対し金融相談員及び中小企業診断士である応援コーディネーターが訪問し、企業が抱える経営課題に適切なアドバイ

ス・助言を行い、さらに適宜アドバイザー・専門家派遣等を積極的に行うことにより問題解決を図った。

◆事業実績

- •訪問企業:154社
- ④ 中小企業アドバイザー事業

中小企業者が抱える販路開拓や経営戦略、経理・事業計画等の様々な問題の解決のため、各分野における知識や経験豊富な人材をアドバイザーとして登録活用し、企業の経営力等の向上を図った。

◆事業実績

- アドバイザー登録:32名、派遣:延べ10日、派遣企業:5社
- ⑤ 調査分析事業

公的機関などの提供する財務分析サービス等を活用して中小企業・小規模事業者の財務面での問題点を分析し、情報を提供した。

◆事業実績

情報提供:0件

⑥ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】 中小企業・小規模事業者の抱える高度専門化している課題について、国 との協力事業である専門家派遣に積極的に応じた。

◆事業実績

- ・専門家派遣:5社(延べ12日)
- ① セーフティネット保証制度に係る認定申請の受付等業務 「中小企業信用保険法第2条第5項」などの規定に基づくセーフティネット保証の認定申請書類の確認、受付を行った。

◆事業実績

・認定申請受付:195社

⑧ 女性起業家育成事業

女性の中小企業診断士を年 52 日配置し、女性や若年者を対象として経営 課題へのアドバイス・助言を行うほか、関連団体と連携し女性起業家の支 援活動を行った。

◆事業実績

創業・経営相談:114件

(2) 商圏分析事業

中小企業者や創業者が市場調査や営業活動を行う際に必要となる、地図データと各種統計データを統合した商圏分析システム「出店くん」を当支援セ

ンターのホームページなどで利用促進を図るため、積極的に広報活動を行った。

◆事業実績

・商圏分析システム利用:0社

(3) さっぽろ版事業者評価事業

高い専門性を有する中小企業診断士に委託し、財務諸表では読み取ることが困難な技術力・サービス等を客観的に評価した報告書を作成し、経営改善や資金調達に繋がる経営支援を行うため、創業後フォローアップ時に札幌市内の金融機関を訪問するなどして、積極的に広報活動を行った。

◆事業実績

・評価報告書発行:0社

3 エレクトロニクスセンター事業

○支出決算額 305,248千円

(1) エレクトロニクスセンター管理運営事業

I T産業支援の拠点施設であるエレクトロニクスセンターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。

(2) 技術開発室支援事業

エレクトロニクスセンターにおいて、良好な研究開発環境の提供を行った。

◆事業実績

· 年度末入居率 60.7%

(3) I o T 推進コンソーシアム事業

札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアムの専門部会の一つである AI 研究部会(Sapporo AI Lab)に関する活動を中心に、AI の社会実装につながる普及・啓発イベントや、AI 人材の育成に関する研修、市内 IT 企業による、AI や IoT などの先進的 IT 技術の社会実装に向けた実証事業への支援、市内 IT 企業の技術者の高度化を目的とした最新の技術動向、開発手法、プログラム言語等を紹介するセミナーや、実践的なハンズオン研修を開催した。

◆事業実績

- ・AI を活用したモデル事業実施:AI 俳句、AI 手話、AI エソグラム共同研究
- ・AI 人材育成研修(AI×経営入門編 全6回開催374名参加、同実践編 全6回開催73名参加、初心者向けエンジニア育成 全10回開催293名参加)
- ・先進的 IT 技術実証事業費補助金:2 件採択(応募8件)
- ・AI 部会主催及び後援によるイベント:5回開催 延べ 382 名参加

- ・先進的 IT 技術に関する研修(普及・啓発セミナー・イベント): Developers Festa Sapporo 309 名参加、ICT 活用普及促進部会(全3回開催) 延べ227名参加
- ・最新技術研修サッポロクリエイティブキャンプ (全 11 回開催)延べ 334 名参加

(4) IT利活用ビジネス拡大事業

札幌のIT企業と、道内・市内で強みや可能性を持つ他の産業(食、観光、環境、健康・福祉分野等)との積極的な交流を通じ、ITの利活用による新たな製品やサービス創出など、地域の経済を活性化するため、ビジネスマッチング・交流会を開催した。

また、市内中小企業を対象とした補助制度「IT利活用促進事業費補助金」を交付し、ITを活用する側の企業のIT投資の支援を行ったほか、ITの利活用に関するセミナーを開催した。

更に、市内中小IT企業が新たなサービスや製品を開発・展開することを 目的とした補助制度「ITビジネス創出支援事業費補助金」を交付し、3件 の新サービス創出支援を行った。

◆事業実績

- ・I T利活用ユーザ企業向けセミナー(札幌イノベーションセミナー等):延べ375名参加
- ・I T利活用に向けたニーズ調査(対象:運輸業、建設業):調査対象となった企業とI T企業による交流会4回開催。市内I T企業 延べ15社参加
- ・ I T コーディネータを活用した I T 利活用に関するユーザ系企業とのマッチング:11件
- IT 利活用促進事業費補助金: 7 件採択(応募 15 件)
- ・IT ビジネス創出支援事業費補助金: 3件採択(応募3件)

(5) IT×バイオ連携推進事業

札幌市内のIT企業と、食・バイオ関連企業との連携促進による新たなビジネスの創出とIT企業の受注機会の拡大を目的に、連携に向けたバイオ企業の視察会、視察先企業に対する提案交流会を開催したほか、ウェットラボ入居企業を対象とした研究開発に係る補助金の交付などを行った。

◆事業実績

- ・食・バイオ関連企業の訪問調査:5社
- ・訪問企業1社との提案交流会の開催:IT企業3社参加
- ・バイオインフォマティクスセミナー (IT、バイオ関連企業向けのセミナー)

開催:60 名参加

- ・補助金の交付:研究開発補助2件
- ・先進事例調査・ウェットラボ入居促進活動:首都圏、関西圏開催のバイオ 系イベント4回参加

(6) ITイノベーション推進事業

市内 IT 企業の新技術を応用した新しいサービスモデルの創出や、必要とされる人材の育成を目的に整備された札幌イノベーションセンターを運用するとともに、今後注目すべき新技術や新サービスの実践的な研修、調査及び実証実験を行った。

◆事業実績

- ・実践的な技術研修: 4件(1件当たり5回シリーズ)
- 新技術活用の事例紹介セミナー(BCP&セキュリティ):1件
- ・市内 IT 技術者を対象とした交流会 (ワークショップ):1件
- ・調査・検討業務:スマート除排雪実証実験

(7) ICT 活用プラットフォーム関連事業

平成 30 年4月に運用開始した「札幌市ICT活用プラットフォーム (DATA-SMART CITY SAPPORO)」の維持管理・運営を行うとともに、データ利活用の普及啓発を目的としたイベントの開催や、データ活用コーディネータによるデータ提供者と活用者への訪問調査など、データの活用促進に向けた取組を行った。また、プラットフォームの持続可能な運営基盤の確立を目的とする「データ利活用促進検討委員会」を開催し、収益モデルや運営体制の検討を行った。

◆事業実績

- ・プラットフォームの維持管理・運営(問合せ対応、プラットフォーム更新、関係機関との調整)
- ・データ活用マッチング:企業等への訪問調査:100件
- ・データ利活用促進検討委員会の開催:6回
- ・普及啓発イベント等開催 「北海道オープンデータプラットフォームが担う未来」の開催 「オープンデータ・ワールド」の開催 「インターナショナル・オープンデータ・デイ 2019 札幌」の開催

(8) ICT 活用プラットフォーム機能拡充事業

札幌市 ICT 活用プラットフォーム (DATA-SMART CITY SAPPORO) に購買データの商品自動分類機能、インバウンドの国別滞在者数予測、売り上げや施

設来場者数の予測等を行う高度分析機能を追加した。

4 インタークロス・クリエイティブ・センター事業

- ○支出決算額 68,350千円
- (1) ICC施設管理運営事業
- (2) コンテンツ産業振興事業

デザイン、映像、音楽、キャラクターなどのコンテンツを制作するクリエイティブ産業の振興を進める新規プロジェクト(事業)の創出拠点施設として、情報発信スペース「クロスガーデン」やクリエイター入居スペース「クリエイティブルーム」等を管理・運営している。

また、クリエイティブビジネスを支援するため、著名なクリエイターを招 へいした「クリエイティブワークショップ」やプロジェクトメンバーのネッ トワーク構築を図る「プロジェクトミーティング」など、各種イベントを開 催した。

さらに、クリエイティブ産業と他産業のコンテンツを活用した協業を促進するため、「コンテンツ活用促進事業費補助金」制度を実施するなど、道内中小企業と市内クリエイターが連携し、企業の経営課題を解決していく取組に対する支援も行った。

◆事業実績

- ・クロスガーデン利用者数:5,025人/年(月平均419名)
- ・クリエイティブルーム入居率:33%(全9室(免除3除く。)、入居3室、 空き6室)
- 新規プロジェクト登録数:9団体(計74団体)
- ・クリエイター向けクリエイティブセミナー:2回、131名
- ・クリエイター向けビジネスセミナー:5回、172名
- ・クリエイター向けネットワーク構築イベント: 4回、169名
- ・企業向けクリエイティブイベント: 3回、142名
- 市民向けクリエイティブイベント:1回、531名
- ・プロジェクト発信イベント:8回、636名
- 道内連携プロジェクト補助事業:4件実施

(3) コンテンツ人材育成事業

若手クリエイター等の制作技術の向上及び幅広い情報発信の場の提供などにより、若手クリエイター等の「クリエイティブ・スキル」と「ビジネス・スキル」の向上に資する事業を実施した。

① デジタル工房管理運営

映像等の制作に必要な機材を、低廉で良好な環境で提供し、クリエイターの制作技術向上を図るため、デジタル工房の管理・運営を行った。

◆事業実績

- ・デジタル工房利用件数:141件
- ·貸出機材利用件数:26件
- ② プレ ICC 事業

札幌アートディレクターズクラブ (SADC)、札幌メディア・アート・フォーラム運営委員会 (SMF) の札幌市内の学生や 0B 等が企画・実施するクリエイティブイベントに対する支援を行った。

◆事業実績

- ・SMF とのワークショップ、セミナーの共催
- ③ クリエイター向けクリエイティブセミナー

ICC プロジェクトメンバーや市内クリエイターを対象に、映像制作の専門家を講師として招聘し、専門知識を深め、技術・応用力を高めるワークショップを実施した。

◆事業実績

- ・若手クリエイティブ人材育成「映像編集ワークショップ」【基礎編】
- ・若手クリエイティブ人材育成「映像編集ワークショップ」【応用編】
- ④ 市民向けクリエイティブイベント

ア 社会の課題やテーマに対し、ビジネスのアイデア出し、ブラッシュアップ、ヒアリングを行うことで起業体験を実践していく高校生向けの「起業体験プログラム」を実施した。

◆事業実績

- ・startup Base U18 in 札幌
- イ 中高生を対象に、最新のIT技術(iPhone アプリ、Web デザイン、ゲームプログラミング)を体験してもらうことで、自ら創造的な発想で物事を考え形にしていくことを学ぶ場を提供した。また、札幌市内の大学生が主なチームメンター役となることで、地域での人材エコシステムやコミュニティーの強化も図った。

◆事業実績

・平成 30 年度 IT・プログラミング体験会 in 札幌

所、		事業名	支出決算額	平成30年	度	令和元年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
6			(千円)	事業実績	課題	事業計画	事業目標	ラ後(城は3年间)、日拍9八色/川門性
産業	振興	センター	374,803	トンナ リ / の 均(所 本 - 700/		624 II / WATER DY 05 4 0 0 0 0		土組の女衆特別物ととしての物化
		産業振興センター施設管理 運営事業 【札幌市指定管理業務】	112,786	・セミナールームの稼働率 76% ・スタートアップ・プロジェクトルーム入居率 65% ・利用者アンケート総合満足度 90%(下期)	フト面を含めた機能発揮	セミナールーム等利用促進のためのPRスタートアップ・プロジェクトルーム入居者の発掘及び入居者への経営相談等支援	・セミナールームの稼働率 80%以上・スタートアップ・プロジェクトルーム入居率 80%以上・利用者アンケート満足度90%以上	・札幌の産業振興拠点としての機能 発揮 ・地域を代表するような企業の輩出
	2	中小企業経営セミナー等事 業 【札幌市補助事業】	17,688	・創業者向けセミナー:18回/年 297名 ・起業道場:4回/年 42名 ・人材育成セミナー等:40回/年 1,090 名	・ニーズの高いセミナー等、マーケットの 求めに応じた実効性のあるメニューの展開	・創業者向けセミナーの開催 ・起業道場(6コマで1シリーズ完結)の開催 ・人材育成セミナー等の開催	・創業者向けセミナー:18回/年 ・起業道場:4回/年 ・人材育成セミナー等:40回/年	・創業及び新たな事業分野への進出 の促進 ・企業活動を支える人材の育成によ る企業経営力の強化
	3	女性起業家交流会実施事業 【札幌市受託事業】	0	札幌市において指名見積合わせを執行した結果、 他団体が受託したため未実施	・新たな女性起業家の発掘	・札幌市内で活躍する女性起業家と起業を目指す女性の交流の場を創出し、市内の創業の促進につなげる。	・参加(女性)70名	・令和元年度以降は、札幌市から事業を受託できた場合に事業を実施
		札幌ベンチャーグランプリ 事業 【札幌市受託事業】	1,131	・地域経済をけん引するベンチャー企業を表彰するため、SAPPOROベンチャーグランプリを開催 ・表彰件数:6件	・地域経済においてロールモデルとなる起業家の発掘	(平成30年度で	『業終了)	_
	5	ベンチャー育成事業 【札幌市補助事業】	7,939		業家の輩出	・前年度のSAPPOROベンチャーグランブリ受賞者への経営支援、資金繰支援 ・事業化、ビジネスアイディアの実現に向けた集中的な経営サポート	• 支援先:6件/年	・地域経済におけるオンリーワン企 業としての存在感を発揮
	6	起業志望者向け講座事業 【札幌市補助事業】	1,811	• 1 2講座 259名	・幅広い創業マインドの醸成	・潜在的な起業志望者の掘り起し、視野拡大を行い、 実際の起業増加へとつなげる。	• 起業支援機関連携講座:5回/年 • 起業支援施設連携講座:1回/年	・起業の増加による本市経済の活性化
	7	中小企業ネットワーク構築・推進事業 【札幌市補助事業】	31,174	・企業訪問によるコーディネート:120件/年 ・企業訪問件数:976社/年 1,925回/年 ・さっぽろ産業ポータルアクセス数:60万/年	・財団における組織横断的な産業支援の推進 ・市内企業ニーズの把握・分析強化 ・さっぽろ産業ポータルのアクセス数向上	・中小企業や関係団体とのネットワークの構築による実効的なコーディネートの実践・WEBサイト「さっぽろ産業ポータル」の運営	・企業訪問によるコーディネート:100件 /年 ・さっぽろ産業ポータルアクセス数:58万 件/年	・食関連産業やものづくり産業の新たな取組の創出 ・関係団体とのネットワーク拡充による連携の強化
	8	6次産業活性化推進事業 【札幌市補助事業】	33,263	・6次産業活性化のための補助:5件採択/年 ・企業訪問によるコーディネート:120件 (企業訪問回数:730社/年 1,548回/年) ・マッチングイベント開催:1回/年 食品と機械の集い:セミナー参加241名、交流会参加者170名 ・商談会等出展による支援:5回/年 北海道産品取引商談会:総商談268件 バイヤーズマーケット北海道:総商談36件 コラボ商材ショーケース:総商談33件 スーパーマーケットト・ショー :総商談77件 FOODEXJAPAN :総商談77件	・食品加工業の成長・拡大と地元企業による輸出を含めた販売力強化 ・道内食料産業の付加価値の向上	令和元年度から「食品開発支援事業」に改称 ・市場ニーズ、販路を踏まえた2次産業者と3次産業者の連携による商品開発支援 ・道内の1次産品の情報収集、道内2次産業者と市内3次産業者の課題の把握と解決に向けたマッチング支援 ・食関連企業の総合的なマッチングイベント(道内の食関連産業者等)の開催	・食品開発補助:5件採択/年 ・展示商談会等出展による支援:4回/年 ・マッチングイベント開催:1回/年	・企業の商品開発レベルの向上 ・食品加工業の発展と国内外への販路拡大強化 ・道内食関連産業の商品付加価値の向上
	9	食品海外販路拡大支援事業【札幌市補助事業】	19,013	・企業訪問回数:545社/年、802回/年 (貿易関連相談件数:545件/年) ・商談サポートによる輸出額:211,024千円 ・財団主催による取引商談会:5回/年	事の展開方法及び支援方法の検討	・アジア諸国における道産食品の輸出活性化に向けた支援 ・各国マーケットの需要及び受入状況調査、道内サプライヤーの状況把握、効果的な商談が見込める商材の発掘 ・台湾現地アドバイザー配置による台湾への輸出拡大・食品の競争力強化に向けたHACCP等の認証取得支	・貿易関連相談件数:320件/年 ・商談サポートによる輸出額:160百万円 ・HACCP等の認証取得のための補助:7件 採択/年	・道産食品のアジア諸国での販路拡大、ブランドカの向上 ・北海道ブランドの拡大・認知を きっかけとした海外からのインバウンド増 ・支援先における輸出関連業務のノウハウ蓄積及び自立的推進
	10	輸出仕様食品製造支援事業【札幌市補助事業】	13,787	・輸出仕様食品開発のための補助:10件採択	・年度内の販売実績に繋がる即効性のある サポート及びアフターフォロー体制の充実	・輸出国に適合した食品開発支援 ・仕向地におけるマーケティング活動の支援	・輸出仕様食品開発のための補助:10件採択/年	・海外輸出を検討している市内企業 の掘り起こしと海外への販売力強化 ・北海道ブランド定着促進
		北大ビジネスインキュベー ション支援事業 【札幌市受託事業】	3,643	経営アドバイス等の相談対応:112件/年商談会・マッチング等の情報提供:1,504件/年		・インキュベーションマネージャー1名の派遣による 施設入居企業に対する経営支援	経営アドバイス、マッチング支援:80件/年情報提供:1,500件/年	・入居企業の成長と、札幌市内の新 産業の発展
		デザイン活用型製品開発支 援事業 【札幌市補助事業】		・ものづくりセミナー、中間報告会:各1回/年・製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援:3社/年 ・成果事例集の製作	事業との有機的な連携	・ものづくり企業の製品開発等の支援 ・ものづくりにおける「デザイン戦略」活用に向けた 普及啓発 ・専門家等による製品開発から販売戦略までの一貫的 支援	・ものづくりセミナー:1回/年 ・成果発表会:1回/年 ・中間発表会:1回/年 ・製品開発プロデューサー及びアドバイザー による支援:3社/年	・ものづくり企業における製品開発 力や競争力の強化による本市の「も のづくり産業」の振興

所	NIK	支出決算額	平成30年	度	令和元年度		AW (AMT In E 1993)	
管 NO.	事 業 名	(千円)	事業実績	課題	事業計画	事業目標	一 今後(概ね5年間)、目指すべき方向性	
13	創業支援事業者補助金事業 【中小機構補助事業】	8,664	・スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業に対するハンズオン支援の実施(2,570千円)・入居企業の事業発表会:1回(参加者67名)・創業ワークショップ開催:1回(参加者8名)・入居企業向け勉強会の開催:2回/年 ※その他、札幌商工会議所等における事業費等(6,841千円)	・新たな入居企業の発掘・選定	・スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業の事業発表会の開催 ・入居企業の財務、経営戦略、マーケティング、資金繰り等経営全般に係るアドバイス ・入居企業のビジネス機会拡大に繋げるための成果発表会の開催や入居企業向けの勉強会の実施 ・入居企業の企業マッチング支援や展示商談会での商談サポートの実施	・事業発表会:2回/年 ・勉強会:4回/年 ・展示会での商談サポート:3回/年	・入居企業の早期事業化の達成や経営の安定化をサポート ・地域を代表するような企業を輩出	
14	小規模企業向け製品開発・ 販路拡大支援事業 【札幌市補助事業】	16,742	・製品開発のための補助:7件採択/年 ・ものづくり企業等への企業訪問:285回/年	・市内ものづくり関連企業の革新的な新製品・新技術の開発支援によるものづくり産業の付加価値向上 ・地域を支える魅力ある企業への成長を促すための企業間連携の推進	・ものづくり企業における課題(製品開発、行政に求	・製品開発のための補助:5件採択/年 ・ものづくり企業等への企業訪問:350回 /年	・市内ものづくり関連企業の革新的 な新製品・新技術の開発支援による ものづくり産業の付加価値向上 ・地域を支える魅力ある企業への成 長を促すための企業間連携の推進	
_	IoT等生産性向上推進事業 【札幌市補助事業】		令和元年度新規事業		・市内製造業向けのIoT等の活用による生産性向上セミナーの開催 ・IoTツール紹介のための見本市への出展	• IoT等生産性向上セミナー: 1回 • ものづくり等見本市に出展: 1回	・市内企業へIoT等の生産性向上ツールの導入率向上	
15	映像産業振興事業【札幌市補助事業】	27,863	・ロケ誘致をした映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」等を活用したシティプロモーションの実施 ・国際共同制作案件組成のためワークショップ(5回)、国際企画提案会議(国内1回、国外1回)を実施 ・学生映像コンテスト、ドキュメンタリー講座、札幌映像コーディネーター勉強会の実施	・特区通訳案内士、映像コーディネーター 制度の更なる活用 ・他産業との更なる連携	・国際共同制作促進にむけた取り組み(国際企画提案会議等の実施、助成金活用による制作支援) ・国内外からのロケ誘致の促進による札幌の魅力発信やボランティアエキストラ登録制度等の活用によるシビックプライドの醸成 ・映像の力を活用した他産業へ波及効果の創出・映像コンテンツの販路拡大に向けた支援や、映像関連人材の育成による映像産業の基盤強化	・誘致した映画・ドラマの件数:3件 ・ボランティアエキストラ登録数:3,000名 ・映像制作助成金採択件数:20件 ・国内外映像見本市への出展:3件 ・国内外映像見本市での商談件数:300件	映像関連産業の振興とともに、映像のプロモーション効果を活かした観光客の誘致や道産食品の海外輸出など、多様な産業への波及効果を生み出すことによる地域全体の活性化を推進する。	
16	フィルムコミッション事業 【札幌市補助事業】	19,276	・映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実 話」のロケ撮影誘致 ・撮影問合せ相談件数:120件 ・ロケハン日数:146日 ・ボランティアエキストラ登録数:2,907名 (平成31年3月末現在。平成29年度末:1,675 名 1,232名増)	・FC機能の更なる拡充 ・他産業との更なる連携	(令和元年度から映像産業振興事業に統合)			
17	映像コンテンツ販路拡大事業【札幌市補助事業】	9,544	・東京(10月)、シンガポール(12月)、アメリカ マイアミ(1月)、香港(3月)でのコンテンツマーケットへ出展 ・商談件数:293件	・札幌・北海道映像制作会社のコンテンツ 販路拡大 ・他産業との更なる連携		元年度から映像産業振興事業に統合)		
18	映像制作助成事業 【札幌市補助事業】	45,256	・映像制作助成金採択件数:15件(映画・ドラマ:3件 国際共同制作:5件 海外プロモーション:5件 ドキュメンタリー:2件)	・事業者のニーズに応じた運営 ・他産業との更なる連携	(令和元	元年度から映像産業振興事業に統合)		
中小企業	支援センター	33,898						
1	中小企業支援センター事業 【札幌市受託事業】	33,898	・アドバイザー派遣:10日(企業数5社)/年 ・企業訪問による事後フォローアップ:154件 /年 ・経営・融資相談件数:4,539件/年 ・経営・融資相談件数:54件/年 ・セーフティネット保証制度認定申請受付: 195件/年 ・中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援 事業【国との協力事業】専門家派遣:5社(12 事業 【国との協力事業】専門家派遣:5社(12 ・女性中小企業診断士による女性向け起業・経営 相談窓口 52日/年 ・市内金融機関訪問:201店舗/年	・広報強化による利用促進 ・斡旋先への事後フォローの徹底、優良先 の発掘 ・専門相談員のスキルアップ及び広報強化 による利用促進 ・「さっぼろ創業支援プラザ」の利用活用 ・国の制度の積極的な活用促進 ・女性起業家への周知徹底を図る	・創業・雇用創出支援資金の事後フォローアップによる継続的な支援体制の構築 ・経営相談窓口による経営支援の強化、各種制度融資	・アドバイザー派遣:10日(企業数5社) /年 ・企業訪問による事後フォローアップ: 125件/年 ・経営・融資相談件数:4,500件/年 ・融資あっせん受付件数:120件/年 ・専門家派遣:20社(40日)/年 ・女性中小企業診断士による女性向け起業・ 経営相談窓口 52日/年 ・金融機関訪問店舗:180店/年	・「さっぽろ創業支援プラザ」の相談体制強化 ・中小企業者への円滑な資金調達の支援と質の高い経営支援 ・さっぽろ産業ポータルサイト・メルマガや税理士事務所情報などを活用した創業支援資金等の広報強化 ・国や札幌商工会議所などの専門家派遣との連携 ・女性起業家への創業支援による創業の拡大 ・他中小企業支援機関との連携強化による有効な情報提供	
2	商圈分析事業 【財団自主事業】	0	• 商圏分析(出店くん):O件/年	_	・市内金融機関へのセンター事業の広報活動の実施 (平成30年度で事	業終了)	_	
3	さっぽろ版事業者評価事業 【札幌市補助事業】	0	• 評価報告書発行:O社/年	_	(平成30年度で事	業終了)	_	

所入口	事業名	支出決算額	平成30年	度	令和元年度	F 2	 今後(概ね5年間)、日指すべき方向性
管 NO.		(千円)	事業実績	課題	事業計画	事業目標	フ後(城は3年间)、日泊9八〇川川江
1 2	ロニクスセンター エレクトロニクスセンター 管理運営事業 【札幌市指定管理業務】 技術開発室支援事業 【財団自主事業】	73,596 34,534	・貸会議室、駐車場等の施設管理運営 ・年度末入居率60.7%	・改修工事終了後の施設のPR ・技術開発室の入居率の維持・向上、特に 技術開発室B(ウェットラボ)への入居企 業の誘致	会議室等利用促進のためのPR 技術開発室入居率向上のための誘致活動	・会議室等利用率:31%超 ・年度末入居率:70%超(技術開発室)	・実証実験等の場としての利用等、 エレセン・テクノパークの新機能の 提示・活用 ・市内 T関連産業尾振興に寄与す るような効果的なの実施 ・ウエットラボへの入居促進に繋げ られる、 T関連企業と食・バイオ 関連企業との連携による新たなビジ ネスの創出
3	IoT推進コンソーシアム事業 【札幌市補助事業】	35,096	主催及び後援イベント:5回開催 延べ約400名参加 ・AI人材育成(プランナー、エンジニア初心者)プログラム実施(1.5h/回を全22回開催):延べ約750名参加 ・先進的IT技術実証事業費補助金:2件採択(応募8件) ・最新技術に係る普及・啓発セミナー・イベント(ICT活用普及促進部会、Developers	たビジネスをデザインできる高度なIT人材の継続的な育成と最新技術の社会実装をリードしていくIT企業の支援と継続的な育成・最新技術トレンドを捉えたより実践的な技術研修の実施・AI、IoTなどの先進的IT技術に長けた市内IT技術者の確保と育成・先進的IT技術を活用した、自社ビジネス	学官連携によるコンソーシアムの運営 ・市内IT企業による先進的IT技術の社会実装に向けた 実証事業への支援	・AI人材育成講座(AI×経営入門編&実践編、初心者向けエンジニア育成:過去未受講者対象)開催:延べ600名 ・AI部会、ICT活用普及促進部会主催によるイベント開催(市内IT企業が関わる、AIやIT技術のビジネス展開加速を目的):延べ5回程度 ・先進的IT技術実証事業費補助金の実施@5,000千円×2件採択 ・先進的IT技術に関する研修(普及・啓発セミナー・イベント)などの集客:延べ600名 ・最新技術研修参加者:延べ300名	成 ・市内IT企業が関わる、札幌発となる多数の新製品・新サービスの創出・最新の技術・サービスを提供する経営者・技術者のコミュニティの形成・IT(産業)が持つ魅力や社会貢献
4	I T利活用ビジネス拡大事業 【札幌市補助事業】		400名参加 ・ニーズ調査対象:運輸8社、建設8社上記調査対象とIT企業による交流会:延べ4回開催市内IT企業 15社参加・ITコーディネータ活用等による、IT利活用に関するユーザ系企業とのマッチング:11件・IT利活用促進事業費補助金:7件採択(応募15件)	・セミナーやマッチングの結果のフォローアップ ・他産業企業との効果的なマッチングにつながるIT化のニーズ調査及び掘り起しの実施・ITコーディネータとのさらなる連携強化によるユーザ企業の戦略的IT投資の促進・IT技術を核とした自社ビジネス創出に向け積極的に取り組む市内IT企業のライトアップ強化		・IT利活用ユーザ企業向けセミナー(札幌イノベーションセミナー等) 参加者:400人・ニーズ調査対象:食・観光を支える分野(運輸、建設なども含む)10~15社程度(交流会:IT企業及び他産業分野の企業が数社程度参加する小規模ディスカッション形式)・IT利活用促進事業費補助金(2,000千円×5件採択)及び、ITコーディネータの活用等によるIT利活用に関するユーザ系企業のマッチング(10件程度)・ITビジネス創出支援事業費補助金(3,000千円×3件採択)	・IT業界全体のリーディング・カンパニーとなる市内 T企業の育成・IT技術活用による新しい製品やサービスが創出される環境の醸成・様々な産業分野と市内 T企業との、シナジー効果による札幌発となる多くの新サービスを創出
5	IT×バイオ連携推進事業 【札幌市補助事業】		IT企業3社参加 ・バイオインフォマティクスセミナー(IT、バイ	るコーディネーションカの不足 ・互いが連携することの意識の醸成	・ITと食・バイオの連携に係るセミナーの開催・ITと医療バイオの連携に係るセミナーの開催・ITと医療バイオの連携に係るセミナーの開催・IT企業と食・バイオ関連企業とのマッチングを促すため、バイオ企業の視察会や勉強会の開催。フォローアップとしての意見交換・企画提案の場を設ける(バイオ系企業とのコネクションを持つコーディネータの協力・助言を仰ぐ)・ウェットラボ入居企業を対象とした、研究開発やIT利活用に係る補助金の交付	・IT-バイオ連携セミナー: 2回開催参加企業数: IT企業・バイオ企業延べ20社・バイオ企業ヒアリング: 5社程度・視察会・意見交換会: 2回開催、参加企業数: IT企業延べ20社・補助金の交付研究開発補助: 3件(計6,500千円) IT利活用補助: 2件(計4,500千円)	・市内IT企業と食・バイオ関連企業の連携がもたらす、IT利活用の促進及びモデルケースの創出・機能性食品となりうる新素材の発掘など、IT企業と食・バイオ関連企業による共同研究の開始・医療バイオ分野の企業と先進的IT技術を擁する企業との連携の実現
6	ITイノベーション推進事業 【財団自主事業】	11,160	シリーズ×4セット開催) ・新技術活用の事例紹介セミナー:1件	IT企業への迅速な展開	・今後注目すべき新技術やITを活用したイノベーション事例などの調査及びモデル事業の実施・市内IT企業の海外展開等のイノベーティブな活動の支援・学生や若年層を対象としたプログラミングなど、IT業界に興味を抱かせる啓発セミナーの開催	・新技術活用の事例紹介セミナー:1件 ・市内IT技術者を対象とした交流会(ワークショップ):1件 ・学生・若年層向けプログラミングイベント 参加者:延べ50名×2回程度	・新技術を応用した新しいサービス モデルの創出や、必要とされる人材 育成に資する機能の提供
7	ICT活用プラットフォーム 関連事業 【札幌市補助事業】	22,385	・ブラットフォームの維持管理・運営(問合せ対応、プラットフォーム更新、関係機関との調整)・データ活用マッチング:企業等への訪問調査:100件・データ利活用促進検討委員会の開催:6回・データ利活用の普及啓発を促進するイベントの開催:開発者向け2回、市民向け1回	ム運営の自走化に向けた議論の本格化 ・参画事業者の拡大	・H29年度に構築した「札幌市ICT活用プラットフォーム」の維持管理及び運営・官民が保有するデータのオープン化の促進・データを利活用した新たなビジネスや価値の創造を推進	・(観光分野)参画事業者:55事業者・運営組織の立上げ	・平成34年度(2022年度)をメドに自走化 ・事業分野・事業領域の拡大
8	ICT活用プラットフォーム 機能拡充事業 【国間接補助事業】		・「札幌市ICT活用プラットフォーム」に購買データの商品自動分類機能、インバウンドの国籍別滞在者数予測、売上や施設来場者数の予測等を行う高度分析機能を追加		(平成30年度で事	↓ 「業終了)	_

所	± ₩ 5	支出決質額	平成30年	度	令和元年度	Ę.	
管 NO.	事業名	支出決算額 (千円)	事業実績	課題	事業計画	事業目標	今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
インターク	ロスクリエイティブセンター(ICC)	68,350					
1	I C C 施設管理運営事業 【札幌市受託事業】	24,631	・クロスガーデン利用者数: 月平均419名 ・クリエイティブルーム入居率33% ・新規プロジェクト登録数: 9団体(計74団体)	・クリエイティブルームの入居条件等の検討 ・デジタル工房廃止による今後の活用方法の検討 ・ コンサルティング、クリエイターと企業とのマッチング、プロジェクトメンバーやコン活補助金採択先のフォロー	1階クロスガーデン(情報発信スペース)を活用し	・クロスガーデン利用者数:月平均400名 ・クリエイティブルーム入居率:85%	・クリエイターやプロジェクトの積極的な情報発信、各種セミナーやワークショップ等により、ICCの更なる認知度の向上や利用者数の増加・クリエイターやクリエイティブ産業関連企業と他産業企業との連携強化
2	コンテンツ産業振興事業【札幌市補助事業】	28,503	・クリエイター向けクリエイティブセミナー:2回(131名) ・クリエイター向けビジネスセミナー:5回(172名) ・クリエイター向けネットワーク構築イベント:4回(169名) ・企業向けクリエイティブイベント:3回(142名) ・市民向けクリエイティブイベント:1回(531名) ・プロジェクト発信イベント:8回(636名)		令和元年度から「クリエイティブ産業振興事業」に改称 ・クリエイター支援及び他産業企業向けクリエイティブ活用の普及啓発に資するセミナー、ワークショップ、イベントの開催 ・クリエイター等と他産業企業の連携による製品やサービスの高付加価値化やコンテンツ関連市場の拡大、他産業企業のクリエイティブ活用の普及啓発を目的とした、クリエイティブ活用を促進する補助事業の実施	・クリエイター同士のネットワーク構築イベント(4回以上) ・プロジェクト発信イベント(2回以上): 30人/回 ・他産業との連携創出イベント(4回以 上):30人/回 ・新規プロジェクト創出・ビジネス化支援イベント(3回以上):30人/回 ・No Maps と連携した取組の実施 ・クリエイターと他産業の連携によるクリエイティブ活用を促進する補助金の交付: 1,000千円×3件	・クリエイティブ産業振興に寄与することができる人材の育成・発掘 ・No Mapsやオンラボを活用した成長企業の創出
3	コンテンツ人材育成事業【札幌市補助事業】	15,216	・デジタル工房利用件数:141件 ・貸出機材利用件数:26件 ・札幌メディア・アート・フォーラム(SMF)とのワークショップ、セミナーの共催 ・若手がエイディア・人材育成「映像編集ワークショップ」【基礎編】:20名参加 ・若手がエイディア人材育成「映像編集ワークショップ」【応用編】:25名参加 ・まはまれは、Base U18 in 札幌:13名参加 ・平成30年度IT・プログラミング体験会 in 札幌:38名参加	に係わる人材の輩出 ・スタートアップを志す母数の拡大、コミュニティ形成	令和元年度から「クリエイティブ人材育成事業」に改称 ・クリエイターの人材育成に向けたセミナーやワークショップ、イベントの開催 ・市内の学生やOBを中心とする若手クリエイターが自発的、自主的に企画・実施するクリエイティブイベントに対する支援 ・札幌・北海道におけるスタートアップ支援及びオープンイノベーションの推進を図る「Open Network Lab HOKKAIDO」への運営支援	・学生やクリエイターのクリエイティブスキルの向上、ネットワーク拡充、クリエイティブ産業の裾野拡大 ・新たな企業や雇用を生み出す成長企業の創出	

注:端数処理の関係で、各拠点の名称の右欄に記載している支出決算額と、当該拠点で実施した各事業の支出決算額の合計額が合わない場合がある。

【平成30年度 資金収支決算(事業別対比)】 (法人会計配賦前)

(単位:円)

			(平位:11)
項目	収 入	支出	収支差
	1	2	1-2
産業振興センター事業	378, 875, 872	374, 803, 095	4, 072, 777
中小企業支援センター事業	37, 800, 000	33, 897, 628	3, 902, 372
エレクトロニクスセンター事業	315, 968, 546	305, 249, 201	10, 719, 345
インタークロス・クリエイティブ・センター事業	71, 270, 015	68, 349, 772	2, 920, 243
管理費	41, 728, 199	73, 541, 026	△ 31, 812, 827
その他 (基本財産利息、特定資産利息、雑収入、受入 保証金収入、受入保証金引当資産取得支出、退 職金引当資産取得支出、保証金支出、法人税 等)	5, 565, 348	1, 419, 592	4, 145, 756
計 (当期収支差額)	851, 207, 980	857, 260, 314	△ 6, 052, 334
前期繰越収支差額			127, 877, 775
次期繰越収支差額			121, 825, 441

- ・ 補助金収入は各事業の収入に含めて表している。
- ・ 固定資産(什器備品、ソフトウェア等)取得支出、リース債務支払支出は、各事業の支出に含めて表している。

V 当財団の状況に関する重要な事項(計算書類及びその付属明細書の内容となる 事項を除く。)

書面決議の方法による 理事会議決日	議決の内容の概要
71 7 A MX// P	
	ICT活用プラットフォーム機能拡充事業の実施
平成 30 年 8 月 24 日	に伴い、平成30年度事業計画の変更及び平成30年度
	予算の補正について理事会の承認を得たもの。